

## 指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

### 1 指定概要

#### (1) 施設概要

名 称：釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）

所在地：若松区大字安屋地先

建築年：平成13年

総延長：500m

・遊歩道 延長 200m 幅員 3m

・釣り台付き遊歩道 延長 300m 幅員 6m

付属施設：【休憩棟】 1棟 延面積 435.8㎡

【管理棟】 1棟 延面積 29.8㎡

業務内容：施設の管理運営業務、安全管理業務、その他業務

#### (2) 指定期間

令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日

#### (3) 指定管理者候補の概要

名 称：ひびき灘漁業協同組合

所在地：若松区大字安屋1742番地

主な業務内容：水産資源の管理と水産動植物の増殖

水産に関する経営及び技術の向上に関する指導

組合員の漁獲物その他の水産生物の運搬、加工、保管、販売

漁場の安定的な利用に関する事業

ひびき海の公園における委託業務

脇田海釣り桟橋第4期指定管理者

※ 現在も同組合が当該施設の管理運営を行っている。

## 2 指定の経緯

### (1) 募集及び選定のスケジュール

令和6年9月2日	募集要項配布
令和6年9月10日	募集説明会の開催
令和6年9月10日～9月17日	申請意向届出書の提出
令和6年9月18日～9月27日	申請書及び事業計画書の受付
令和6年10月9日	指定管理者検討会の開催
令和6年10月	指定管理者候補を決定

### (2) 応募要件

- ① 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- ② 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③ 申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)
- ④ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。
- ⑤ 海釣り施設の管理運営のノウハウを有していること。
- ⑥ 漁業権の設定された区域に設置されている施設のため、施設近隣の漁業協同組合との連絡調整を図ることができること。

### (3) 応募状況

説明会参加：1団体

応募件数：1団体（ひびき灘漁業協同組合）

## 3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

## 4 検討会構成員

区分	氏名	役職
学識経験者	デワンカー・バート	北九州市立大学 国際環境工学部教授
市民代表	古川 裕子	東28地区自治会及び 花房地区まちづくり協議会会長
財務・経営に 知見を有する者	河内 洋子	河内洋子税理士事務所所長
業務に精通する者	小路 眞理子	全九州釣ライター協会 事務局長

## 5 選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	(2) 利用者の満足度
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
	【効率性】
	(3) 指定管理業務に係る費用
	① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
	② 経費を低減するための実施可能な提案があるか。
	③ 利用料金の設定が適切であるか。
	④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支計画の内容が合理的かつ妥当なものであるか。
	⑤ 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
	(4) 収入の増加に向けた創意工夫
	① 収入を増加するための実施可能な提案があるか。
	【適正性】
	(5) 管理運営体制など
	① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。

② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
(7) 社会貢献・地域貢献
<社会貢献の視点>
① 高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
② 労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
③ SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
<地域貢献の視点>
④ 地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
⑤ 地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
⑥ 市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

## 6 審査結果

### (1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル				検討会 審査結果	得点
			構成員					
			A	B	C	D		
ひびき 灘漁業 協同組 合	1 指定管理者としての適性							
	(1) 施設の管理運営に対する 理念、基本方針	5	3	3	4	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政 基盤	5	3	3	4	4	4	4
	(3) 実績や経験など	5	4	3	3	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性							
	【有効性】							
	(1) 施設の設置目的の達成 に向けた取組み	30	3	3	3	4	3	18
	(2) 利用者の満足度	10	4	2	4	4	4	8
	【効率性】							
	(3) 指定管理業務に係る経 費	15	3	3	3	3	3	9
	(4) 収入増加に向けた創意 工夫	10	4	3	3	3	3	6
	【適正性】							
	(5) 管理運営体制など	10	4	2	3	4	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危 機管理体制など	10	3	4	4	4	4	8
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	3	3	3	4	3	6
合計	110	73	64	72	83	—	73	
地元団体に対する優遇措置 (5点)							78	

### (2) 検討会における主な意見

- ア 地域との連携をより深くしてほしい。
- イ 広大な海を望むことができるという立地を大いに活用してほしい。
- ウ 季節ごとに投げ釣りやルアー釣りのコーナーを設置しているので、多彩な釣りを楽しむことができるのは良いと思う。
- エ 落水事故が起きていないのは誇れることである。

### (3) 検討会における検討結果

当該施設の指定管理者として、第1期から第4期（平成18年度～令和6年度）の実績に加え、5期目からは新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少した利用者数を回復するため、イベントを実施する等具体的な提案があり、また、過去に落水事故も発生していないことも評価できるため、指定管理者として相応しいという意見で一致した。

## 7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、ひびき灘漁業協同組合を指定管理者候補に選定する。

### (1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

### (2) 市における主な選定理由

ア 釣り台付き遊歩道の設置目的及び市の施策についてよく理解しており、また同施設の管理に関する知識、実績を有している。

イ 応募団体は、釣り台付き遊歩道に隣接した場所に事務所を設けており、地元雇用が見込める。また地元住民や漁業者との調整が効果的に行える。

ウ イベントの実施等具体的な提案がされており、利用者数回復が見込める。

## 8 提案額

令和 7年度 10,610千円

令和 8年度 10,610千円

令和 9年度 10,610千円

令和10年度 10,610千円

令和11年度 10,610千円

釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	ひびき灘漁業協同組合
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p><b>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</b>  釣り台付き遊歩道（以下本施設）の管理運営にあたっては、「都市住民と漁村住民とのふれあい」「市民と交流する魅力ある水産業の創造」実現のための「交流の場」であることの自覚を持ち、多くのお客様をお迎えすることによって、地域の活性化（脇田・若松北海岸）に貢献します。</p> <p><b>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</b>  本施設は、その特殊性により、周辺海域の気象・海象及び魚種、釣法に精通した人材や非常時の救助艇の運転資格（小型船舶操縦士免許）が必要と考えますが、それらの人材を地元から確実に採用することが可能です。ひびき灘漁業協同組合（以下当組合）の組合員は全般に施設に対し協力的で理解があり、今後雇用が必要な場合においても良い人材を確実に確保できます。  また、当組合は、設立以来毎年度黒字の収支を続けており、借入金なく経営を行っています。  土地や不動産も多く所有しており、自己資本比率は93.7%（令和6年3月末）と高く、健全な組合運営を継続することができます。</p> <p><b>(3) 実績や経験など</b>  当組合は本施設の開設（平成13年9月）から現在までの約23年間にわたり、管理運営を担っており、55万人を超える多くのお客さまをお迎えしていますが、その間においては「落水者ゼロ」を達成し、老若男女に安全安心で快適な憩いの場を提供しています。  近年の入場者数は、コロナ禍及び地球温暖化による海水温上昇等の自然由来の「海の異変」に起因する釣果不良の進行により減少し、経営環境は厳しいものとなっています。  その中で、熱中症の予防・暑熱対策としてスポットクーラーを設置して環境を改善、貸し釣具システムの充実による利用促進や初心者に対する釣り指導を丁寧に行う等の取り組みを愚直に実施し、施設の利用促進に努めました。  営業・広報活動については、釣具店、新聞、雑誌、市政だより、インターネット等を活用し、釣果情報・イベント情報等を積極的かつタイムリーに提供しました。また、令和5年度の管</p>

	<p>理運営費は、施設稼働率が同レベル(約94%)の令和元年度比で、9.0%節減しています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p>	<p><b>【有効性】に関する取組み</b></p> <p>(1) 施設の設置目的の達成  各種団体に対し、釣り大会等のイベントの実施を呼びかけ、その支援・後援によるイベントの誘致を促進し、本施設の利用を促します。  更に、身障者の方にも利用しやすい施設である特色を活かして、身障者施設や支援団体等にも広報を行い、また身障者割引制度の導入も検討します。</p> <p>(2) 利用者の満足度  サービスの質を向上させるため、従事者教育を継続してレベルアップを図るとともに、お客さまからのご意見・ご要望・苦情等については必要な検討を行い、今後の管理運営に活かします。  また、お客さまの満足度やご意見等を正確に把握するため、<u>アンケートの回収率を向上させる施策を早期に実施</u>します。</p>
	<p><b>【効率性】に関する取組み</b></p> <p>(1) 経費の低減  与えられた指定管理料の中で、利用者サービスの向上と適正な経費節減を両立させるべく、費用対効果の向上に愚直に取り組めます。</p> <p>(2) 収入の増加  本施設利用促進の最大の障壁である<u>釣果不良の改善及び新たな周辺施設を活用しての集客効果増大、使用頻度の少ない休憩所2階の有効活用等</u>に取り組むことで、収入の増加を図ります。  また、貸し釣具システムの充実により、初心者の利便性を向上させ、併せて釣り指導を丁寧に行うことにより、釣り経験のない利用者や女性、子供、高齢者、身障者の方々にも<u>手ぶらで気軽に本施設を利用してもらえるよう</u>に十分に留意して取り組めます。  以上のように、収入を増加させ、経費を適正に低減する取り組みを継続することにより、「利益のあがる体質の構築」を目指します。</p>

	<p><b>【適正性】 に関する 取組み</b></p>	<p><b>(1) 管理運営体制など</b>  本施設の管理運営については、当組合の地区代表理事を始め、統括責任者・現場責任者を中心として、施設内の業務を担当する施設部と庶務・経理を担当する事務部に、これまでの経験と有している資格を基にして業務に精通した従事者を配置し、業務遂行します。</p> <p><b>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b>  本施設が海上に設置されていることに鑑み、気象・海象に常に留意し、利用者の人命尊重を第一として施設の開閉を行い、開設時から継続している「落水者ゼロ」を目指します。  また、定期に実施している救助訓練については行政との連携に留意し、取り組みます。  お客様へのサービスについては、基本である平等利用を徹底し、お客様へは利用者マナーが遵守されるように監視、啓発を行います。</p>
--	--------------------------------------	---

提案額（千円）

7年度	10,610千円
8年度	10,610千円
9年度	10,610千円
10年度	10,610千円
11年度	10,610千円

## 釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日（水） 10:00～11:30
- 2 場 所 北九州市役所 本庁舎7階 顧問室
- 3 出席者 （検討会構成員） デワンカー・バート構成員、古川裕子構成員、  
河内洋子構成員、小路眞里子構成員  
（事務局） 産業経済局水産課長、漁政係長、担当職員
- 4 会議内容
  - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
  - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
  - 構成員の互選により、座長を選出（デワンカー・バート構成員）
  - 募集要項等について事務局より説明
    - （事務局） 前回募集時と比べて、人件費や物価の高騰を受けて、指定管理料の上  
限額が上がっているのが、主な変更点である。  
また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が減少し  
ているので、応募団体にはその状況の改善を期待している。
  - 各企画提案書について事務局及び応募団体より説明
    - （事務局） 今回、自主事業が追加となっている。
    - （応募団体） 休憩棟の2階をより活用していきたいと考えている。  
当施設の近くで、洋上風力が建設されており、建設後はより景観が  
良くなると思われる。  
その景観を望めるカフェのような飲食店を、休憩棟の2階に導入す  
ることを検討している。  
また、魚礁等を整備し、釣果が安定するよう努めていきたいと思  
っている。
  - 応募団体より提案概要に関してヒアリング
    - （構成員） 当施設における、1日あたりの利用者数を教えてほしい。
    - （応募団体） 大体ではあるが、1日50名から100名が来場している。
    - （構成員） 入場者数が減少するという冬場に、集客を目的としたイベントは企画  
しないのか。
    - （応募団体） 当施設は海上に建設されているため、高波等の影響を受けやすい。  
冬場は常態的に波が高く、また、気温も低いことから、非常に危険

である。

そのため、冬場にイベントは企画せず、夏場に釣り大会等のイベントを企画していきたいと思っている。

(構成員) 夏場における暑さ対策はどのようにしているのか。

(応募団体) 休憩室にスポットクーラーを設置したり、施設内に自動販売機を設置することで対策している。

(構成員) 休憩室の2階にカフェのような飲食店を導入したいとのことだが、確実に実現できるのか。

(応募団体) 水道や下水といった問題はあるが、今後5年間のうちに実現したいと思っている。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
  - (構成員) 当施設が供用されてから、一貫して指定管理者に選定されているという実績面は十分評価できる。
  - (構成員) 業務従事者の教育が続いており、安定している。
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
  - (構成員) 暑さや寒さ対策が不足していると感じる。
  - (構成員) 冬場の休園の多さから、例えば駐車場等で魚に対する様々なイベントを考えてみてはと思う。
  - (構成員) 季節ごとに投げ釣りやルアー釣りのコーナーを設置しているので、多彩な釣りを楽しむことができるのは良いと思う。
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
  - (構成員) 経費等の節約が十分できているのではないかと感じた。
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
  - (構成員) 落水事故が起きていないのは誇れることである。
  - (構成員) 地域との連携をより深くして運営してほしい。
  - (構成員) 安全性というのは重要性が高く、そこが問題なく運営できているのは評価できると思う。
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議
  - (構成員) 広大な海を望むことができるという立地を大いに活用してほしい。

(構成員) 安全性については、全く問題ないといえるが、今後は総合的な安全訓練を実施し、より安全な施設を目指してほしい。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。